

## ボツワナ共和国月報(2022年2月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- Ledumadumane East地方区議会の補欠選挙、UDCが勝利
- ディコロティ保健大臣、ハボロネ市内にて襲撃される
- ボツワナ放送公営企業化法案、否決される

#### 【外政】

- SADCモザンビーク・ミッション(SAMIM)に派遣されたボツワナ国防軍人が死亡
- マシシ大統領の第6回EU・AU首脳協議参加
- マシシ大統領のボツワナ・ジンバブエ二国間国家委員会(BNC)参加

#### 【SADC】

- SADC地域テロセンターの設立

#### 【経済】

- 2021年第4四半期の失業率、前年同期から2%増加し26%
- ボツワナ人口の17.2%がUNDPの多次元貧困指数(MPI)において貧困層に分類
- セラメ財務経済開発大臣による2022年度予算演説
- 1月の年間消費者物価指数上昇率は10.6%
- 日本政府、UNICEFを通じ、ボツワナのコールドチェーンシステムの強化を支援

#### 【治安】

- 2021年の犯罪率、前年比で16.5%増加
- ハボロネにて発生した銃撃戦により10名の現金輸送車強盗が死亡
- SADC本部での盗難事件

#### 【内政】

○Ledumadumane East地方区議会の補欠選挙、UDCが勝利

5日、Ledumadumane East地方区議会の補欠選挙が実施され、UDCが371票、BDPが281票獲得し、UDCが勝利した。これにより、昨年12月から実施されている補欠選挙において、12議席中、9議席を野党が獲得したこととなる。

○ディコロティ保健大臣、ハボロネ市内にて襲撃される

11日夜、ディコロティ保健大臣は、ハボロネ市内のエクステンション27にて襲撃された。一部報道では重症と報じられていたものの、負傷はなく、14日には仕事に復帰した。

○ボツワナ放送公営企業化法案、否決される

国民議会に諮られた「国営ボツワナ放送公営企業化法案」が、賛成15、反対23、(欠席16)により否決された。法案を提出した議員は、民主主義においては、政府から

独立した経営陣によって運営される公的放送機関の存在が不可欠であると主張した。

## 【外政】

○SADCモザンビーク・ミッション(SAMIM)に派遣されたボツワナ国防軍人が死亡

9日、SADCモザンビーク・ミッション(SAMIM)に派遣されていたボツワナ国防軍の一人がモザンビークのカーボデルガード州にて死亡した。死因は、現在も調査中。なお、同遺体は11日にボツワナに到着した。

○マシシ大統領の第6回EU・AU首脳協議参加

マシシ大統領は、アフリカ諸国の首脳とともに、17日から18日にかけてベルギーで開催された第6回EU・AU首脳協議に参加した。同会合では、平和・安全保障、AU及びEU間の協力・貿易、保健・ワクチン製造等につき協議された。またマシシ大統領は、フランダース大臣－大統領及びオーストリア首相とも会談し、ボツワナのキンバリー・プロセス事務局誘致等に関し協議した。

○マシシ大統領のボツワナ・ジンバブエ二国間国家委員会(BNC)参加

25日、マシシ大統領は、ムナンガグワ・ジンバブエ大統領の招待により、ジンバブエにて開催された第3回BNCに参加した。同会合にて、両首脳は、(1)観光分野での協力、(2)児童保護、(3)水分野での協力等に関する二国間の覚書への署名を行った。また両首脳は、国境を越えた家畜窃盗問題の解決に向けた取組を調整するための閣僚委員会を設立した。

## 【SADC】

○SADC地域テロセンターの設立

28日、マホシSADC事務局長は、ダルエスサラームにて行われたSADC地域対テロセンター開所式典に参加した。同式典にて、マホシSADC事務局長は、同センターが、研究、評価、分析に加え、各国の対テロ・暴力的過激主義防止国家機関・関連組織、国際機関に対し時宜を得た情報共有を行うことにより、各国の対テロ戦略の調和を図ることを目的としている旨説明した。

## 【経済】

○2021年第4四半期の失業率、前年同期から2%増加し26%

ボツワナ統計局によると、コロナの影響により失業率は上昇し続けている。2021年第4四半期時点でのボツワナの失業率は、前年同期である2020年第4四半期から1.5%増加し、26%となった。なお、2019年第4四半期時点の失業率は22.2%。

○ボツワナ人口の17.2%がUNDPの多次元貧困指数(MPI)において貧困層に分類

UNDPがオックスフォード大学と共同で立ち上げた多次元貧困指数(MPI)によると、ボツワナでは人口の17.2%が貧困層に分類される。MPIは、所得以外に、健康面や栄養失調、きれいな水や電気へのアクセス状況等が考慮される。

○セラメ財務経済開発大臣による2022年度予算演説

国民議会初日の8日、セラメ財務経済開発大臣は、ボツワナ独立後初の女性大臣として2022年度予算演説を行い、同会計年度予算案を提出した。同年度予算では従前の国家機関運営に関する経常予算を合理化するとともに、具体的なプロジェクトに対する開発予算へのシフトが行われ、財政出動を通じたCOVID19からの国民の救済と、強靱性のある経済の構築が強調された。

○1月の年間消費者物価指数上昇率は10.6%

ボツワナにおける1月の年間消費者物価上昇率は、10.6%と二桁の大台に乗り、前年12月の8.7%から1.9%と大幅に上昇した。同月の消費者物価の上昇は、交通、住宅、水・電気・ガス・その他燃料、食品・非アルコール飲料及びその他商品・サービスの価格上昇を反映したものである。

○日本政府、UNICEFを通じ、ボツワナのコールドチェーンシステムの強化を支援

25日、日本政府は、ボツワナにおけるワクチン等のコールドチェーンシステム強化のため、約790万プラを拠出することを決定した。この支援には、コールドチェーン機材の調達や関係者の能力強化が含まれる。本支援は、日本が、COVID-19及び保健を重要課題とするTICAD8に向けて準備している中、時宜を得た決定である。

【治安】

○2021年の犯罪率、前年比で16.5%増加

マコペ警察庁長官は、ボツワナ警察幹部年次会合において、2021年の犯罪率が前年比で16.5%増加した旨述べた。前年は、犯罪率が22.8%の大幅減少を記録しており、今般の増加は、COVID-19による移動宣言等が解除されたことが要因と考えられる。

○ハボロネにて発生した銃撃戦により10名の現金輸送車強盗が死亡

23日、武装した11名の強盗(南アフリカ及びボツワナ国籍)が、ハボロネのメインモールにて、98万6,000プラ以上の現金を積んだ現金輸送車を襲撃した。現金を奪った強盗は、フェーズIIロケーションに逃亡後、ボツワナ警察と銃撃戦となり、10

名が射殺、1名が逮捕された。

#### ○SADC本部での盗難事件

1月28日夜、SADC本部に強盗が侵入し、17台のパソコン及びサーモグラフィーが盗まれた他、警備員が負傷する事件が発生した。ボツワナ警察は、同容疑者に対し、2万5,000プラの懸賞金をかけ、捜査を続けている。